

## 事例研究報告

**特別支援学校中学部の生徒に  
教員の話聞くスキルを教える**

## 生徒の実態

- ・知的障がいのある中学部生徒
- ・発達年齢 6歳1カ月
- ・一斉授業の中で話を聞く場面において、特に姿勢が崩れやすい。
- ・教員が授業で話している時、下を向く、机にうつぶす、爪をかむ、横の友だちをつつく、話しかける等がある。
- ・「保健室でアルコールをもらってきて」等のお手伝いは、よくできる。

## 教員の考え

「教員の話をする時に、姿勢をよくしたい。」

「逸脱行動を減らしたい。」



## アドバイザーからの助言

逸脱行動は、「分からない」のサインです。

ルールは簡単なものを少数で行なうことから始め、丁寧にすることで、ほめられる経験を増やす

ことから始めましょう。



## 指導目標の見直し

### 【長期目標】

教員の話を書く時の適切な行動を増す。

### 【短期目標】

チェックリストを用いて、教員の話を用いた姿勢で聞くことができる。

### 指導目標(チェックリスト項目)

- ・話を聞くときは教員の間を見ることができる。
- ・質問は手を挙げてすることができる。
- ・話を聞くとき、手を膝の上に置くことができる。

# 指導1: チェックリストを用いた指導

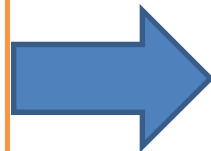
・チェックリストに自己評価をつけ、教員の評価との一致率を見る。評価が同じ場合は、賞賛する。違う場合は、フィードバックし、修正をおこなう。

## 指導1期: 9月～11月16日

1	先生が話をするときには、目を見てしっかり聞く。
2	自分が言いたい時は、相手が話してないときに言う。
3	話を聞くときは、手をひざの上におく。

### 実施しての問題点

- ・文章が長く、項目チェック時、本人がすぐにつけることができない。
- ・毎時間の記録ができない。



## 指導2期: 11月17日～

1	目を見る。
2	しつもんは手をあげる。
3	手はひざの上。

### 改善

- ・すべき行動を簡潔な言葉で表現した。
- ・朝の会と帰りの会だけで記録をする。

# 指導1と2: チェックリストを用いた指導

指導1期: 9月～11月16日

指導2期: 11月17日～

( )月( )日

学校生活のルール ○○ ○○

1	先生が話をする時は、目を見て しっかり聞く。
2	自分が言いたい時は、相手が話して ない時に言う。
3	話を聞く時は、手をひざの上におく。

守れたか 自分で チェックしよう

	①	②	③	④	⑤	⑥	帰り
1							
2							
3							

守れたか 先生に チェックしてもらおう

	①	②	③	④	⑤	⑥	帰り
1							
2							
3							

-1-



先生 の 話 を きく 時

1	目 を 見る。
2	しつもん は 手をあげる。
3	手 は ひざの上。

先生 の 話 を ききましたか?

	朝の会	帰りの会
①目		
②しつもん		
③ひざの上		

先生 の ひょうか

	朝の会	帰りの会
①目		
②しつもん		
③ひざの上		

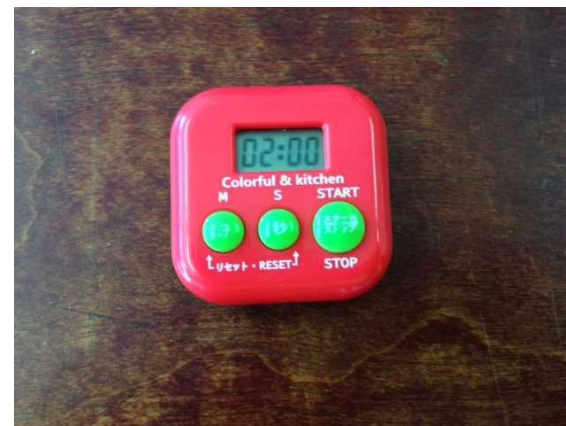
( )月( )日  
○○ ○○

-1-

## 指導3:タイマーで時間を設定した指導

### 指導3期:指導2期+タイマーで時間を限定

- ステップ1:1分間(12月1日~12月10日)
- ステップ2:2分間(12月11日~12月21日)





## 記録方法と記録

チェックリストにつけた○, △, ×を点数化する。

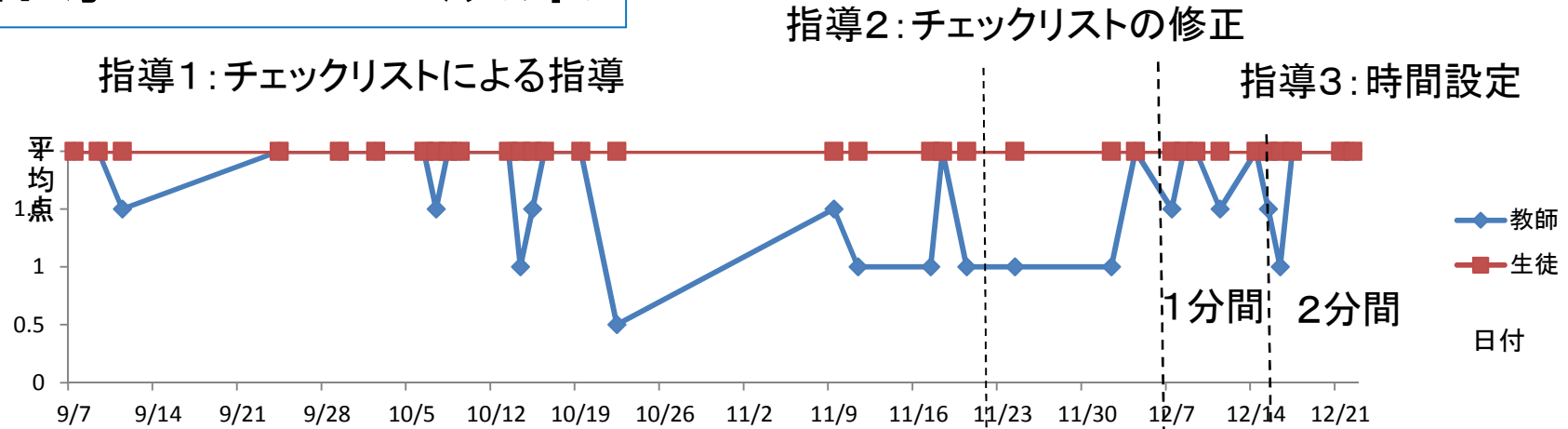
○ 2点

△ 1点

× 0点

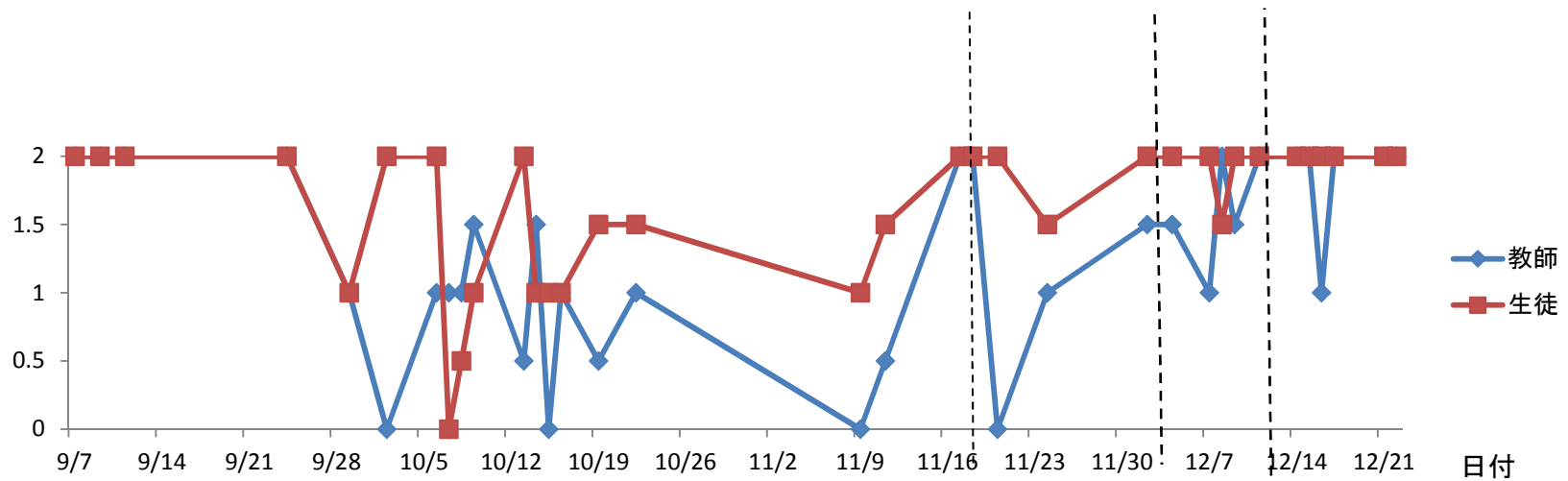
朝の会と、帰りの会の平均点を出す

# 指導1から3の成果



平均点

## 結果1: 話を聞くとときに教員の方を見ていた得点



## 結果2: 手を上げて質問をした得点

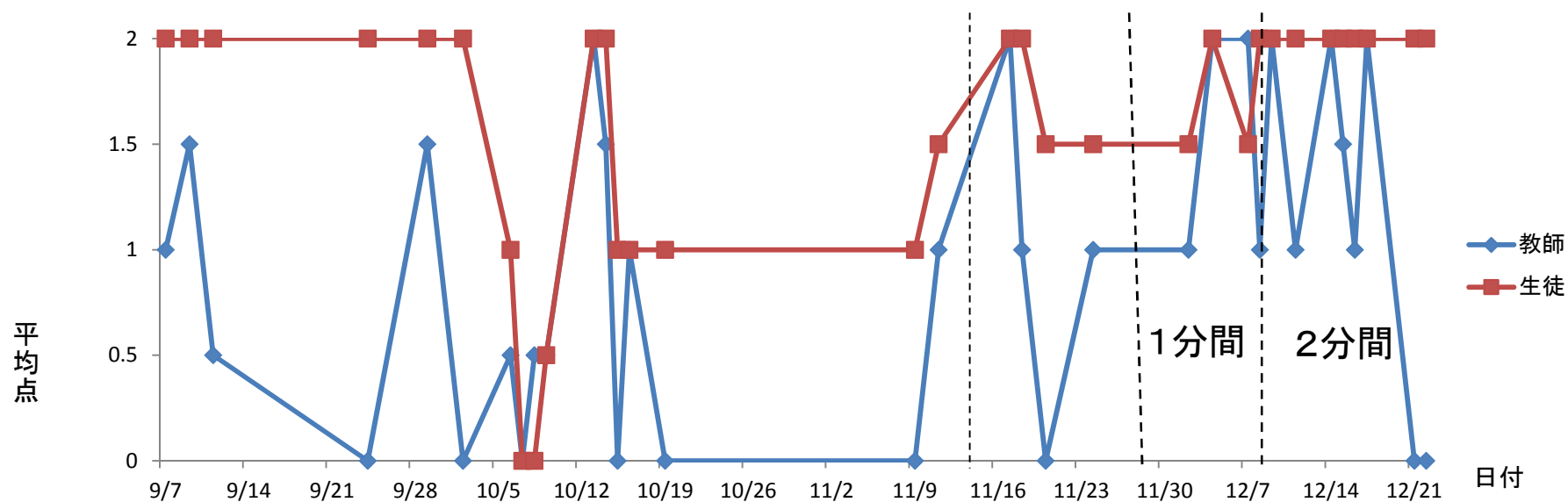
# 指導1から3の成果

チェックリストの項目文を短くして、時間を限定(1分間, 2分間)することで、適切な行動が増えました。

指導1: チェックリストによる指導

指導2: チェックリストの修正

指導3: 時間設定



結果3: 手を上膝の上に置いた得点

# ここが成功のポイント



○ルールは簡単なものを少数で行なうことから始め、丁寧にすることで、ほめられる経験を増やす。

○チェックリストは、話を聞く時に、どのような行動をとればよいか分かり有効である。